

### 第3回 知立駅周辺整備計画検討委員会 議事録

日時：平成24年12月25日（火）

午後2：00～4：30

場所：知立市中央公民館 中会議室

		氏名	役職	出欠席
1	学識経験を有する者	磯部友彦	中部大学教授	出席
2	各種団体を代表する者	藤澤貞夫	知立市都市計画審議会会長	出席
3		新美文二	知立市商工会会長	出席
4		平澤信幸	区長会長	出席
5		塚本文雄	知立ライオンズクラブ会長	出席
6		坂田幸恵	地域婦人会連絡協議会会長	出席
7		風間勝治	知立市商店街連合会会長	出席
8		蔭山尚久	青年会議所理事長	出席
9	公募市民	東繁宏	公募市民（男性）	出席
10		阪野嘉子	公募市民（女性）	出席

(オブザーバー)

- 愛知県都市計画課長（代理：片山 貴視、菅沼 克文）
- 愛知県都市整備課長（代理：横山 甲太郎、加藤 敬、町田 隆義）
- 知立建設事務所長（代理：北川 義己、大見 敬一）
- 安城警察署長（代理：金澤 重文）

(傍聴者)

2名

配付資料	1. 第3回知立駅周辺整備計画検討委員会資料 2. 第3回知立駅周辺整備計画検討委員会参考資料
------	--

○会議の公開について

・知立駅周辺整備計画検討委員会は、「知立市審議会等の設置及び運営に関する取扱要領」に基づき委員会は原則公開とする。ただし、非公開情報を審議する場合は非公開とする。

1. あいさつ

2. 都市計画道路の見直し案について

・事務局により「第3回知立駅周辺整備計画検討委員会資料」を説明する。

<<質疑応答>>

(藤澤委員) 委員会は後2回であるが、結論が出るかは疑問である。東西線を検討する際には南北線の30m道路が関係してくると思われる。駅前広場については、一部商業者の意見で見直しをしたのが曖昧である。実際に駅周辺の商業施設に車で来るとするのは現実的な発想で

はなく、車優先の駅前広場はまちづくりとしてはダメではないか。また、個別の路線の見直しについても十分理解できていないと思われる。

- (磯部委員長) 都市計画道路については、今現在ある道路と無い道路があるのでわかりづらいと思う。道路の考え方として、「ゾーンシステム」というものがあり、全て中心部に集めるのではなく、少し迂回させながら集める方法があるが、知立駅周辺はそのイメージである。知立駅周辺は昔からの道路が多く、昔の道路は曲がっていて、少し形が悪いが、それを残しつつ新しい道路を作っていくという考えになっていると思う。
- (新美委員) クラウンパレス西側の道路はなくなるのか。
- (事務局) 南北線の整備により、現在の元国道1号線と本町堀切線の交差点にある信号は南北線との交差点に付け替えることになる。
- (平澤委員) 元国道1号線は現在も混雑しているが、クラウンパレス西側の道路はなくなると、本町堀切線との交差点は三叉路となるが出入は大丈夫なのか。また、南北線は駅の南側が当面開通しないが、整備はいつくらいになりそうなのか。
- (事務局) 元国道1号線以北については、駅南区画整理事業が進んで、知立南北線の動線を確保できた時点でないと整備は難しいと考えている。
- (風間委員) 資料の9ページには南北線の整備は平成38年以降とあるが、駅南の区画整理事業とあわせての整備になる。そのため、環状線との接続部分はなかなか工事ができない。それまでは暫定的なものを考えないといけななど、道路のネットワークをどうしていくのが難しいと思う。また、13ページの駅前広場の見直しについては、個人的には元年構想を支持しているが、商店街連合会の会長としての立場では、商業者の意見も汲むことが必要である。駅広のコミュニティ道路とした時点でのレイアウト案は、現計画とほぼ同じであるため、市が余程の決意がないといけな。これから商業者の同意を得る努力をしないと難しいと考える。この案について、地元とは詰めているのか。
- (事務局) 今回提示した案については、地元提示していないので、委員会後に地元には説明する予定である。
- (風間委員) 一部であれ、商店街の意向があるので、東西道路は無視出来無いのではないか。これまで検討してきた結果、元に戻った案になっており、収集がつかなくなるおそれがある。
- (事務局) コミュニティ道路とした時点での案については、周辺の道路状況を踏まえて、コミュニティ道路化が可能となった時の案と考えている。コミュニティ道路化については地元と十分調整していく必要があると考えている。
- (磯部委員長) 駅前商店街は、駅と運命を共にしており、駅利用者をターゲットにしている。そのため、今後、南北線ができることで、南北線が主動線になると人の流れが変わっていくことになる。今は都市計画・道路計画と地元意見がうまくマッチングしていないように感じる。
- (新美委員) 資料の3ページに記載してある商業ゾーンについては、今ある商店街のどこに作ろうとしているのか。また、11ページの駅前広場の交通処理であるが、新しい計画でどのくらい処理できるのか。広さはどれくらいになるのかイメージできない。
- (事務局) 商業ゾーンは知立南北線を都心軸としているので、保健センターから南陽通りまで、堀切地区から池端地区までと考えている。知立駅は学生が多いので、いかに学生を呼び込むかが重要と考えている。駅前広場については、企業バスが多く、すべてを処理することは難しいので、企業と連携を図ることが必要と考えている。そのため、駅南の地区も合わせ

て企業バスについて検討していくことが必要である。駅前広場の計画は7,200㎡のため、現在の大きさが約3,500㎡であるので、倍の大きさになる。

(新美委員) 新しい駅前広場ではバスが処理しきれないのであれば、三河知立駅付近の企業送迎バスが少なくなるため、三河知立駅の移転をすることもかんがえられる。送迎バスの問題やCO2削減の考えなど、総合計画にあるが、どうなっているか。

(事務局) 三河知立駅の移転の話は、進んでいない状況である。鉄道事業者としては、新駅は複線化したいという考えで、その費用負担を求めてきているが、都市側としては複線化はグレードアップであり、現在事業のコスト削減を進めていることから、負担について調整中である。現在鉄道事業者の方でコスト削減を図れる案を検討中で今年度中に結論を出したいと考えている。

(事務局) 今回の道路の見直しは南北線の幅員と東西線の考え方がキーポイントとなるので、これまでの経緯について再度説明させていただく。今回の見直しのキーは、知立南北線の位置づけと東西交通の取扱いである。今の計画(元年構想)は、平成元年に鉄道高架を想定して議論した結果、作り上げた計画であり、当初も10年や15年で全ての路線が完成するとは考えておらず、かなり先を見据えた計画となっている。

鉄道が高架化されることで北側と南側を一体化する都市軸が必要だという議論の中で、駅西側に新しく都市軸を計画し、区画整理による整備で道路を作り車も通すし、歩道を拡げて人の安全性も考慮した整備を目指すこととしている。駅から東側については、既存商店街等もあり、すぐには面整備できないので線の部分(道路)を車から人への考えに基づき、コミュニティ道路化した。

東西交通についても、公安委員会といろいろ話を詰めた中で、車を優先したような出入りもいいのではないかと意見をいただいたが、将来を考えると行政としてはまちづくりの当初の考え方・方向性を示していくべきと考え、当面は相互交通を活かした駅前広場整備とするが、将来計画道路が一定以上整備された場合は、交通処理もできることから東西交通を止め、コミュニティ道路化することとしている。

その中で委員の皆さまに意見をお聞きしたい。3~5回では決めきれないとの意見もあったが、この検討委員会は委員の皆さまに決めていただくというのではなく、委員の皆さまに意見を聞く、かつ、その意見を踏まえてパブリックコメントで市民の意見を聞き、最終的な判断をしていく予定である。

(磯部委員長) 今の説明で全体像が見えてきたのではないか。いまの古い道があり、その道に沿ってまちができていくので、その道を活かしながら新しいまちをつくるためこのような計画ができていくということである。今日の議論は、現道があって計画があり、その計画を見なおしていくということである。都市計画は将来出来る道路の幅と車線数を決めるのがルールとなっており、それをどうしようかというものである。道路が広ければ使い勝手は良いがお金がかかる。実現するためにどうするのが良いかを検討していくことになる。

(阪野委員) 知立南北線は刈谷に通り抜ける通過交通のために広げるといふように思われ、新たな通過交通を呼び込むということにならないか。

(事務局) 市としては人を中心とした中心部にしたいという考えがあり、歩道を広げていきたいと思っている。当初計画の4車線道路も、国道1号や国道155号のような車があふれるような道路とは性格が異なり、今回の検証でも2車線で良いという結果も出ている。また、これから人と自転車を中心とした社会になっていくのでそれへの対応も可能な道路としたい。

(磯部委員長) 参考資料に道路の断面構成が書かれている。自転車を通る道が独立して作ることも可能となる。中央帯が広くとってあるが、街路樹を植えるなどの使い方も考えられる。また、停車帯があると、停車する車があってもつまらずにすむ。なお、断面については、ある程度一定の幅で続いたほうが好ましい。悩ましいのは南北線で、駅周辺は30mで2車線になっ

ているが、駅南側は21m で狭くなっている。ここも30m でもいいのではないかという考えもある。道路を広げると沿道の家は立ち退きとなるので、広げることはなかなか大変である。一方、区画整理は全体的に整備するので比較的やりやすくなる。

(風間委員) 今回の駅前広場の案は警察協議に基づいた提案となっているのか。

(事務局) 警察との協議を踏まえた案となっている。

(風間委員) 概ね理解できる内容である。栄線についてはコミュニティ道路では東から西に行けないのでパンクするのではという意見があったので、2車線化にするのは良いと思う。これまでの主たる意見は反映されていると思う。なお、本町堀切線と新富線は将来的にコミュニティ道路となっているが、現時点でいつ頃なると考えているのか。

(事務局) 知立南北線がある程度完成しないとコミュニティ道路化は難しいと考えている。駅南土地区画整理事業の事業化してから10年くらいはかかると考えている。

(風間委員) 資料9ページの平成38年以降に課題が集約されていると思う。その時期に面整備が進めば、住民もリアルに理解できると思うが今現状はなかなか厳しいと申し上げておく。また、高架下の利用については、名鉄との交渉を早くして都市側に有利にしないといけないのできちりしていただきたい。行政だけの交渉ではうまくいかないので、東京の武蔵野市のように民間の協議会をたちあげて交渉して欲しい。市長も選挙後そのように言っているので、市長と相談して体制づくりを進めて欲しい。歩行者優先の絵ができてくれば現在厳しい意見を頂いている人たちの理解も得られるのではないか。

(事務局) 道路は骨格であるので、今後いかに肉付けをしていくのかを考えていかななくてはいけない。公安との協議をし、意見を頂いた中で悩んでいるところは、南北線の幅員の縮小について、環状線から南陽通りまで幅員を21m に縮小していたが、現時点で区画整理の方向性が明確でなく、ブラザー精密さんについても、現在の工場を変えろという方向性はあるものの、その後どうするかという方向性が明確で無い状態で、幅員の縮小を決めてしまっただけで良いのかと思っている。今知立のまちは北側しかイメージできていないが、南側について委員の方のご意見を頂きたいと思う。

(新美委員) ブラザー精密さんの件は、何度かお話をする機会があったが、市がビジョンを掲げないといけないのではないか。一緒に考えましょうというテーブルに乗らないといけない。実施するのが何年先になるかわからないが方向性だけははっきりさせないといけない。これは駅南の人にも同じである。

(平澤委員) 知立駅がどのような街になるのかがイメージできない。名鉄がどのようなものをつくるのかもわからない。刈谷駅の北側は大きく変わっていないが、南側は大きな土地があり、だいぶ変化したと思う。知立駅も南側のブラザー精密の土地に何か検討してはどうか。駅前広場は車が多く、すべての機能が北側にあるのは無理があると思うので、機能の半分は南に持っていったほうが良いのではないか。

(新美委員) 平面だけで考えるのではなく、歩行者デッキを作ることは考えているのか。

(事務局) 知立駅は1階に改札口と南北を結ぶコンコースが出来る。そのため、デッキを作ると上下の移動が生じるので、歩行者用のデッキは考えていない。ただし、何らかの横断施設は必要とは考えている。南側の広場については、知立駅のスペース上問題がある。資料19ページの図面のグリーンの部分、現在の鉄道敷のスペースで現在鉄道事業者の土地であるが、活用方を検討したい。ブラザー精密さんとは何度か話をしており、活用について任せているわけではなく、市が検討すべきことは認識している。現在は法律の網をかけているので高度利用はできないし、網を外して開発することも現在の道路形態では難しい。そのため、

今後時間をかけて協議して行かないといけない。民間の力を活用しながら検討していくことが必要であるので、現時点で南北線の30mの幅員を縮小することを決めるのは早いのではないかと考えている。

(愛知県都市整備課) 南北線の整備については、なるべく早く整備が必要と認識している。整備手法については協議していきたい。資料19ページの区画整理事業の計画図については、区域のとり方や道路の配置など、地権者と話をしていけないので、パブコメでこの図面を提示することはしないほうが良い。

(愛知県都市計画課) 南北線はシンボルロードとして駅南側も30m とするという考えもある。車線数を変更するので都市計画の変更となる。今後利用形態を考えていくことが必要になる。30mの幅員が活かせるようにして欲しい。

(磯部委員長) 道路の利用であるが、例えば徳島では阿波踊りの会場となるので中央分離帯のない道路としている。交通処理だけでなく、まちづくりの視点で考えていくことが必要。

(阪野委員) 駅前広場に自家用車の駐車場があるが、駐車場があることを期待して、駅前広場に入り込んでくる車があるかもしれないので、駐車場はなくして送り迎えだけにしたほうが良いと思う。

(藤澤委員) 30m道路を2車線にするのは大賛成である。駐車場については停車する場所が確保できれば良いと思う。企業バスの駐車場の確保はどうするか検討が必要。商店街・飲食店の立場では、少し離れたところに停めて、回遊してもらうという意見もある。

(事務局) 駅前広場内の駐車場については、公安からもさまざまな規制等があると聞いており、検討の余地はあると考えている。南北線に停車スペースを確保することについては、公安協議でも話をしたが難しいと考える。企業バスについては、すべてを北側に集めることは難しいので駅南側や駅周辺全体で検討していきたい。

(阪野委員) 自転車やバイクの駐車場については、動線を踏まえてレイアウトを考えて欲しい。

(事務局) 鉄道の高架下で場所は分からないが市が使える所があるので、そこで駐輪場を確保していきたい。

(阪野委員) 駐輪場が遠くなった場合に放置自転車等が出ないように対策をとってほしい。

(磯部委員長) 次回委員会後にパブリックコメントを実施するということであるが、パブリックコメントは、計画の細かなことについて聞くのではなく、簡単な絵やキーワードなどを中心として、方法論を確認するようにはどうか。現在のまちがあり、今の計画案があり、それをどのように見直しをして将来のまちにするのかをしっかりと説明して欲しい。

(坂田委員) 以前婦人会で駅周辺の計画について説明会をして頂き大変わかり易かったので、今回のパブリックコメントについてもぜひ説明していただきたい。

(風間委員) パブコメについて事前に商業者への説明をしていただきたい。

(平澤委員) 1月18日に最後の区長会があるので、説明をお願いしたい。

### 3. その他

- ・第4回の検討委員会は2月22日(金)午前10時から、知立市中央公民館中会議室で開催する。